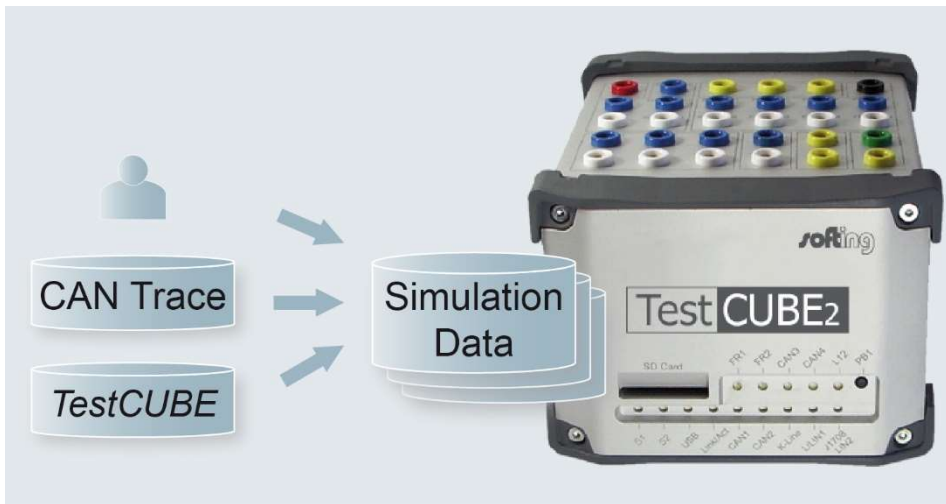


TestCUBE₂

Configurable Simulation of ECU Diagnostics

TestCUBE₂ 実際のバス通信上で ECU 診断のシミュレーションのための構成可能なハードウェアとソフトウェアのソリューションです。この機器1つで、複数の ECU または車両全体のシミュレーションを同時に行うことができます。

Test CUBE₂



Availability of ECUs

テストシーケンスの作成は、全体のプロセスチェーンでは多くの場合ある種課題といえます。テスト対象とし必要となる ECU は、だいたいその時点では用意されていないケースが多いからです。この問題はエンジニアリングテストで始まり、製造システムそしてアフターセールスサービスまでに続くことがあります。例えば、定期的なソフトウェアのアップデートは、リペアショップテストに全ての最新機能が割り当てられていることを確認します。テストが通信するのに適当な相手は、テストのテストを自動的に実行するために必要です。必要な ECUs は、十分なテストカバレッジを確保するために、全体的にそして全バリエーションで利用可能でなければなりません。通常は不可能ですが、シミュレーションがソリューションとなります。

Regression Test – Without Changing ECUs

以前は異なる ECUs は、時間のかかる手動手順や複雑な電子機器と切り替えが必要だったのに対し、TestCUBE₂ の場合、ユーザがやるべきことはシミュレーションファイルの改造です。直感的に操作可能なグラフィックユーザインターフェイスまたは DLL インターフェイスを使用した自動テストで実現できます。

Test Quality

TestCUBE₂ を信頼できる通信相手として使用することができます。テスト準備に必要な全範囲で設定可能なコンフィグレーションをもっています。--- 通信パラメータ (address, timing) と診断サービス (ECU の応答とリアクション) の両項目を設定。また best-case と worst-case シナリオのシミュレーションを可能にします。

Residual bus simulation

CANdb ファイルを自動的にインポートしシンボリックレベルに編集した後は、バスシミュレーションのセットアップが迅速にできます。。

AREAS OF APPLICATION

- 開発、テスト、製造、ワークショップ
テスト
- 製造システムのリリーステスト
- テスタのリグレッションテスト
- CAN バス通信のレコード

BENEFITS

- ECU が無い状況でのテストが可能
- 簡単な操作で習得時間を短縮
- シミュレーションファイルのアーカイブでバリエーションの明確な管理
- 様々なコンフィグレーションによる高品質なテストが可能
- Best-case と worst-case テスト
- プログラミングインターフェイスを介してシミュレーションの修正と変更

Application Example

下記の例は、TestCUBE₂ がテストのリグレッションテストに簡単に効率良く使用できることを示しています。

- トレースの作成: 既存のテストと一緒に診断シーケンスを車両またはラボの機器で実行、CAN バス通信(トレース)を TestCUBE₂ で記録。
- シミュレーションの生成: TestCUBE₂ アプリケーションは 診断メッセージの CAN トレースを自動的に構成し、それらを車両 ECU に割り当てる。必要であればタイミングもシミュレーションする – ECU の pending responses をかえす。
- シミュレーションの編集: 必要な場合、シミュレーションを手動で拡張することができる。複雑なシーケンスは C コマンドで実現する。
- テスタのテストとシミュレーション: テスタに変更をかけることなく、診断シーケンスをシミュレートした車両で実行することができる。仮にそのテストがリモートで制御できる場合、完全な自動テストが可能。関連するシミュレーションファイルは API を介して TestCUBE₂ に簡単にロードする。

注: シミュレーションを再ロードする必要がないようなケースでは、デバイスに恒久的に保存することができるので、PC 接続がなくても実行することができる。

Technical Data

インターフェイス	32-bit embedded controller with PowerPC-Core 384MHz Supply voltage 8 to 28V Housing dimensions 143mm x 113mm x 84mm
インターフェイス	2 CAN ports (high-speed, low-speed, single-wire) 2 K-line ports 3 analog inputs / 3 digital in-/outputs signals via banana jacks and 26-pin MDR-jack
PC インターフェイス	USB 2.0 Ethernet
対応プロトコル	ISO15765 ISO14229 VW TP 2.0 SAE J1939 On request
対応 OS	Windows 7 32/64 Bit Windows 10 32/64 Bit
動作環境	PC, IBM-compatible, at least 2200 MHz, 2 GByte RAM

Order Numbers

TestCUBE2-BU	Basic TestCUBE ₂ device for ECU simulation
TestCUBE2-BU/TRACE	Basic TestCUBE ₂ device for ECU simulation Incl. creation of ECU simulations from CAN trace data
TestCUBE2-ODX	Generator ODX data to ECU simulation
TestCUBE2-KLINE	Protocol extension K-Line
TestCUBE2-TP20	Protocol extension VW TP2.0
TestCUBE2-J1939	Protocol extension SAE J1939
TestCUBE2-TRACE	Creation of ECU simulations from CAN trace data
TestCUBE2-BUSSIM	Residual bus simulation

Softing
Automotive Electronics GmbH
Richard-Reitzner-Allee 6
85540 Haar / Germany
T +49 89 456 56-420
F +49 89 456 56-499
info.automotive@softing.com
www.softing.com

代理店:
ガイロジック株式会社
〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-5-11
TEL: 0422-26-8211
FAX: 0422-26-8212
sales@gailogic.co.jp
www.gailogic.co.jp